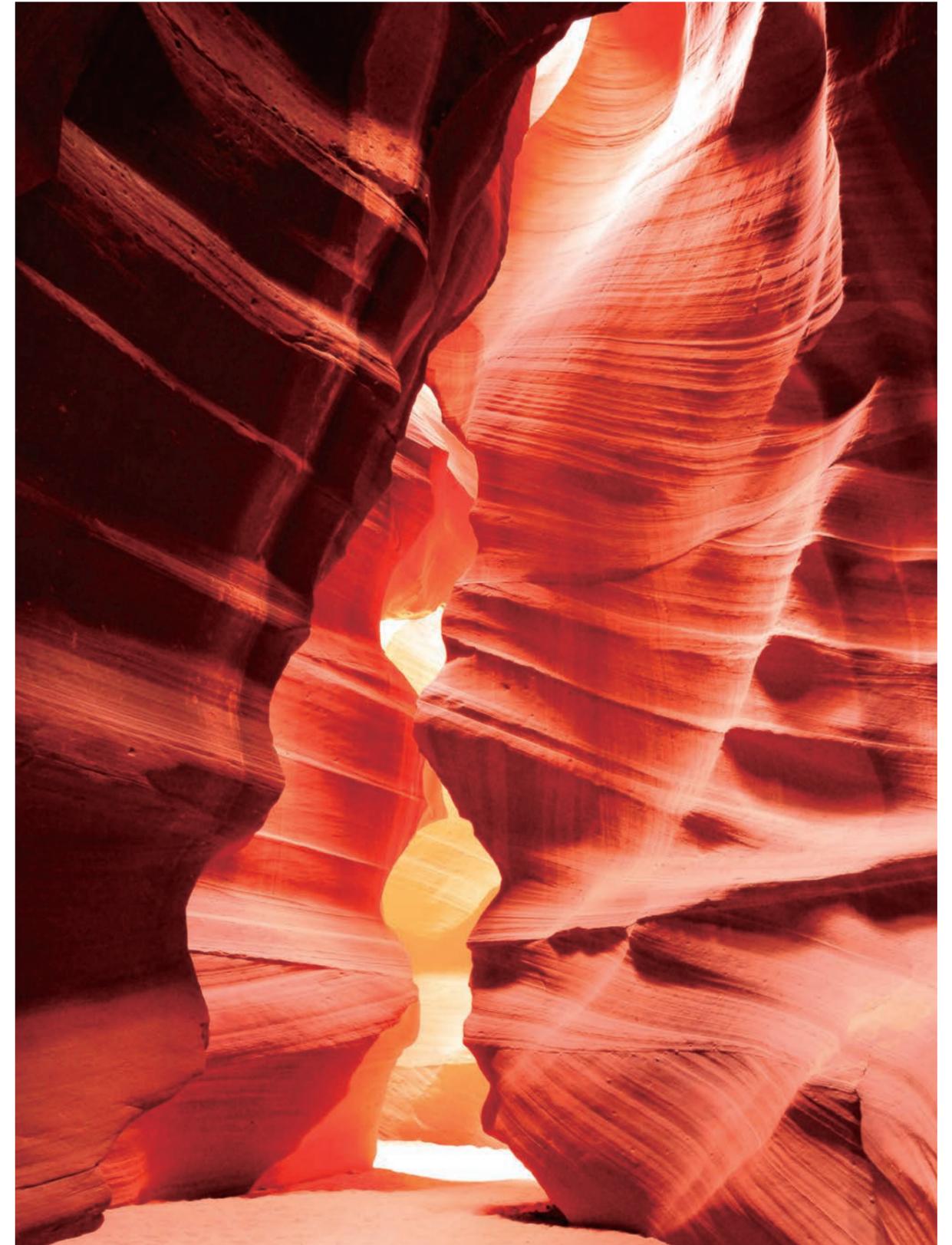


エンパソル

地盤調査システム

NETIS登録番号(旧QS-110033-VE)*



施工技術本部 R&Dセンター

〒300-2658 茨城県つくば市諏訪C23街区3画地
TEL.029-846-6175 FAX.029-836-1682

URL [http:// www.raito.co.jp](http://www.raito.co.jp)

e-mail spatial@raito.co.jp

お問い合わせ、ご用命は下記へお申し付け下さい。

Placeholder for contact information or inquiries.

発行 2023年1月
760120_400_TB

「平成30年度 準推奨技術（新技術活用システム検討会議（国土交通省）」

*NETISの「旧」表記はNETIS掲載期間終了技術です。

多様な条件に貢献できる新たな地盤調査を提供します

エンパルは削孔機に取り付けたセンサーを用いて、削孔時にデータを収集し、これらのデータを解析処理することにより、一般の地質調査法と併用して地盤の分類、硬軟を判定することができるシステムです。

特長

1. 5mm単位で地盤データを連続的に収集できます。
2. 削孔能力に優れた削孔機を使用するため、短時間で調査できます。
3. 支持層確認など地盤を連続的に調査する場合、従来の地質調査数を減らすことができます。
4. 注入工事などで施工と同時にデータ収集を行うことができます。

地盤データ収集システム

①削孔機

油圧駆動式のドリリングマシンを使用します。

②送水ポンプ

スライム排出のためロッド内を通して削孔水を送水します。送水量は100ℓ/min程度。

③ビット

対象地盤や削孔方法により、ビットの選定を行います。

④センサー

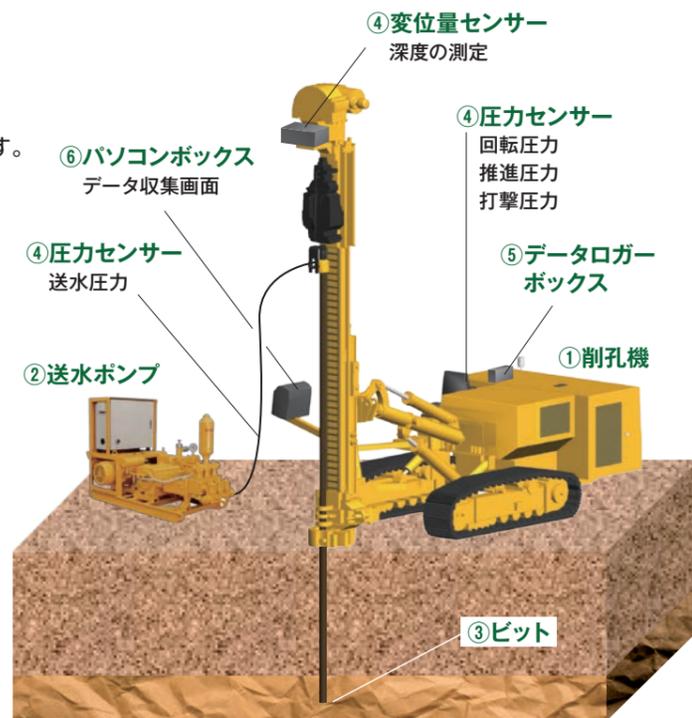
圧力センサー・変位量センサー等

⑤データロガーボックス

削孔深度5mm単位で削孔データを収集します。

⑥パソコンボックス

- ・収集データをUSBメモリーに記録できます。
- ・削孔時に収集データを現場にてリアルタイム表示します。

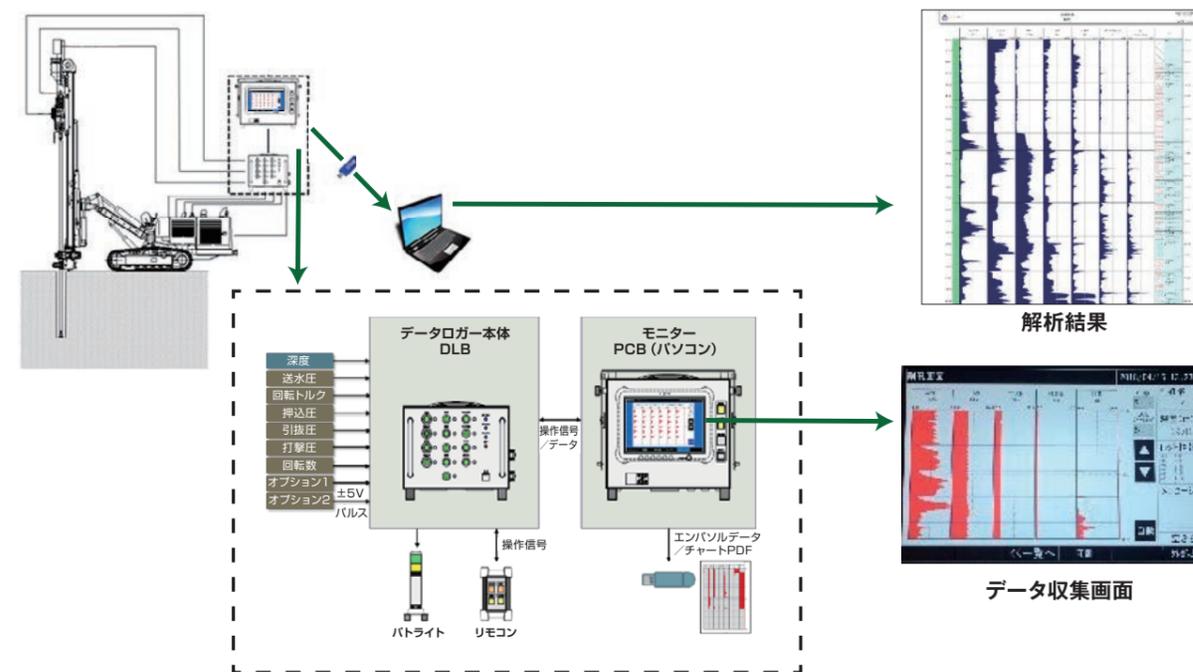


機能

1. 削孔深度5mm単位で削孔データを収集します。
2. 最大10種類のデータをUSBメモリーに記録できます。
3. 収集したデータは現場の必要に応じて解析処理できます。
4. 専用カメラを用いることで削孔状況の動画撮影ができ、収集データと同期できます。

データ収集状況と解析結果例

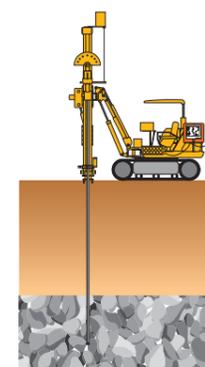
エンパルはデータ収集状況をパソコン画面でリアルタイムに表示します。収集したデータは、専用のソフトで解析を行います。



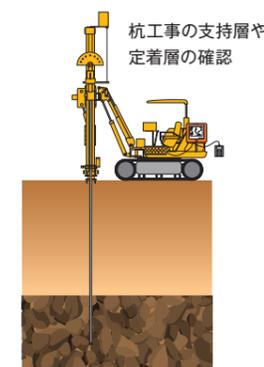
適用例

エンパルは地盤の分類および硬軟判定ができるため、様々な調査条件に適用することができます。

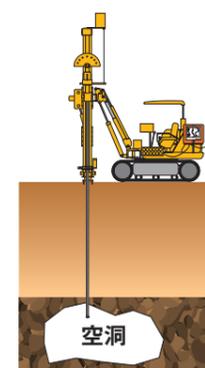
地層区分



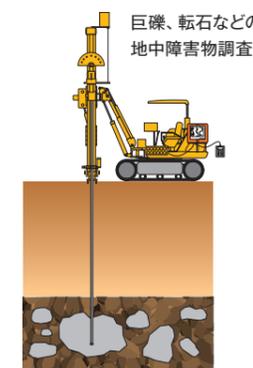
支持層・定着層の確認



空洞調査



地中障害物調査



出来形確認

